

景気見通し調査(平成28年3月期)

調査結果

福井商工会議所
中小企業総合支援センター

【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

調査時期 平成28年3月8日(火)～3月11日(金)

調査方法 FAXによる送付、回収

調査対象 福井商工会議所 会員小規模事業所より 360件を抽出

(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所

卸売業・小売業、商業・サービス・その他・・・従業員5人以下の事業所)

回答数 183件 (回収率50.8%)

	製造業	建設業	卸・小売業	サービス業	合計
5名以内	15	16	23	10	64(36.8%)
6～10名以内	14	15	9	8	46(26.4%)
11名以上	20	12	15	17	64(36.8%)
計	49(28.2%)	43(24.7%)	47(27.0%)	35(20.1%)	174

※業種未回答9件除く

DI値とは...

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇」したとする企業割合から、「悪い」「下落」したとする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果の概要】

改善傾向から悪化へ転じる

～仕入価格改善も、売上伸びず～

■業界の景況

- ・2期連続の改善から一転、悪化
- ・建設業において大幅に悪化
- ・卸・小売業は改善を見込む

■自社の景況

- ・2期連続の改善から一転、悪化
- ・建設業、卸・小売業で改善
- ・卸・小売業を除く業種で悪化を見込む

■売上高

- ・3期連続の改善から悪化へ
- ・製造業、卸・小売業で改善

■仕入価格

- ・3期連続の改善
- ・全ての業種で改善

■販売価格

- ・前回調査から若干悪化
- ・建設業、卸・小売業で改善
- ・卸・小売業で改善を見込む

■採算(収支)

- ・2期連続から悪化
- ・全業種で悪化
- ・全ての業種で悪化を見込む

■業界別の動向

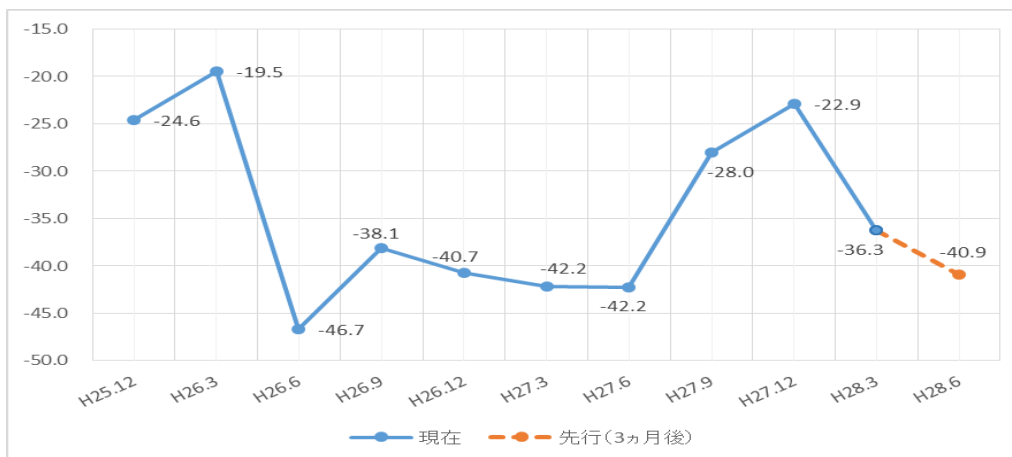
業種	コメント	前回調査との比較					
		業界の景況	自社の景況	売上高 (受注高)	仕入価格 (商品、資材、原 材料等)	販売価格 (受注単価)	採算(収支)
全業種		↓	↓	↓	↑	↓	↓
製造業	+ 電子機械類製造の状況が良い	↓	↓	↑	↑	↓	↓
	+ 設備投資に伴う受注があった						
	- 主要取引先に対する売上不振 - 他社との競争						
建設業	+ 大型物件の受注と物件数の増加	↓	↑	↓	↑	↑	↓
	+ コンスタントな受注あり						
	- 官公庁の予算縮小 - 平年より受注が少ない						
卸・小売業	+ イベント開催により売上増加	↓	↑	↑	↑	↑	↓
	+ 繁忙期の為、売上が増加						
	- 価格競争の激化 - 国内需要の低迷						
サービス業	+ 積極的な営業活動の成果が出た	↓	↓	↓	↑	↓	↓
	+ 新商品がヒットした						
	- 売上減少による販促予算の低迷 - 人材不足						

■調査結果概要(調査項目別)

	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
業界の景況	-36.3	-13.4	-40.9	-4.6
製造業	-28.0	-8.4	-41.7	-13.7
建設業	-22.2	-24.0	-27.3	-5.1
卸・小売業	-66.0	-8.3	-59.2	6.8
サービス業	-24.3	-7.6	-31.4	-7.1
自社の景況	-22.1	-4.3	-32.2	-10.1
製造業	-20.0	-8.2	-34.9	-14.9
建設業	0.0	1.8	-30.8	-30.8
卸・小売業	-48.0	0.1	-36.6	11.4
サービス業	-16.2	-6.9	-24.1	-7.9
売上高	-15.4	-5.4	-31.8	-16.5
製造業	-14.0	5.6	-38.0	-24.0
建設業	-4.4	-13.3	-34.1	-29.6
卸・小売業	-30.0	4.6	-30.6	-0.6
サービス業	-10.8	-17.9	-22.2	-11.4
仕入価格	-13.9	9.2	-22.5	-8.6
製造業	-6.0	1.8	-14.0	-8.0
建設業	-13.3	8.1	-18.2	-4.8
卸・小売業	-24.0	8.7	-36.7	-12.7
サービス業	-11.4	21.1	-20.0	-8.6
販売価格	-2.2	-0.7	-4.5	-2.2
製造業	-10.0	-10.0	-16.0	-6.0
建設業	-2.2	8.7	-6.7	-4.4
卸・小売業	-2.0	2.0	6.3	8.3
サービス業	8.3	-3.6	0.0	-8.3
採算(収支)	-27.6	-10.2	-38.9	-11.3
製造業	-24.0	-4.4	-40.0	-16.0
建設業	-28.9	-23.5	-46.7	-17.8
卸・小売業	-46.9	-8.4	-47.9	-1.0
サービス業	-5.4	-0.6	-16.2	-10.8

《業界の景況》

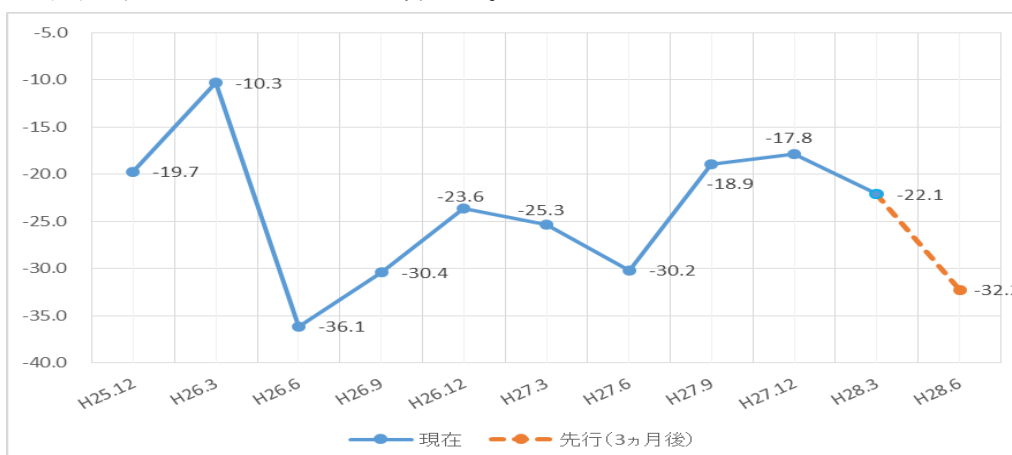
業界全体の現在 DI 値は▲36.3 を示し、前回調査（H27.12 期）から 13.4 ポイント下回り、2 期連続の改善から一転悪化となった。3 ヶ月後の動向を表す先行 DI 値は▲40.9 で、現状よりさらに悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲28.0、建設業が▲22.2、卸・小売業が▲66.0、サービス業▲24.3。前回調査と比較すると、いずれの業界も悪化し、なかでも建設業は 24.0 ポイントの大きなマイナスとなった。



業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値- 現在DI値)
全体	-36.3	-13.4	-40.9	-4.6
製造業	-28.0	-8.4	-41.7	-13.7
建設業	-22.2	-24.0	-27.3	-5.1
卸・小売業	-66.0	-8.3	-59.2	6.8
サービス業	-24.3	-7.6	-31.4	-7.1

《自社景況》

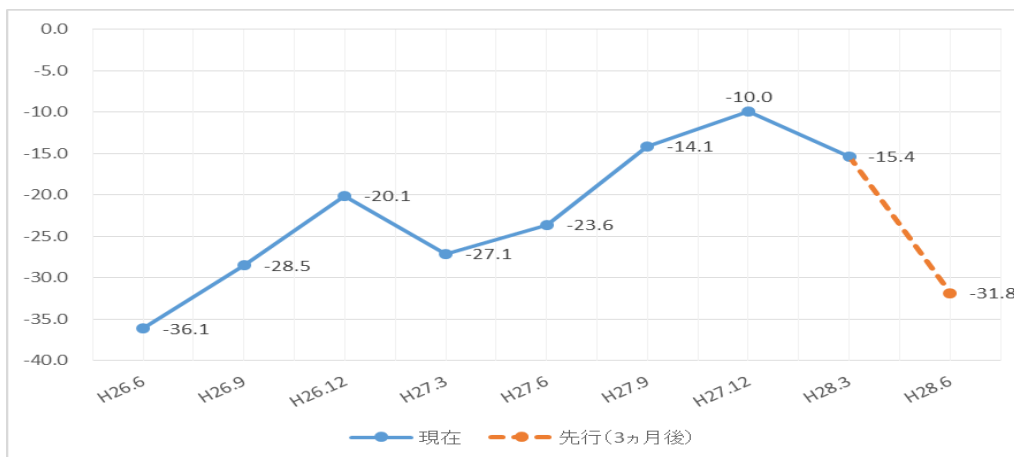
自社の景況は、現在 DI 値▲22.1 となり、前回調査より 4.3 ポイント下落した。先行 DI 値は▲32.2 で、現在より 10.1 ポイントの悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲20.0、建設業が 0、卸・小売業が▲48.0、サービス業が▲16.2 を示した。先行 DI 値からは、建設業における大幅な下落が見込まれていることが分かる。



自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値- 現在DI値)
全体	-22.1	-4.3	-32.2	-10.1
製造業	-20.0	-8.2	-34.9	-14.9
建設業	0.0	1.8	-30.8	-30.8
卸・小売業	-48.0	0.1	-36.6	11.4
サービス業	-16.2	-6.9	-24.1	-7.9

《売上高》

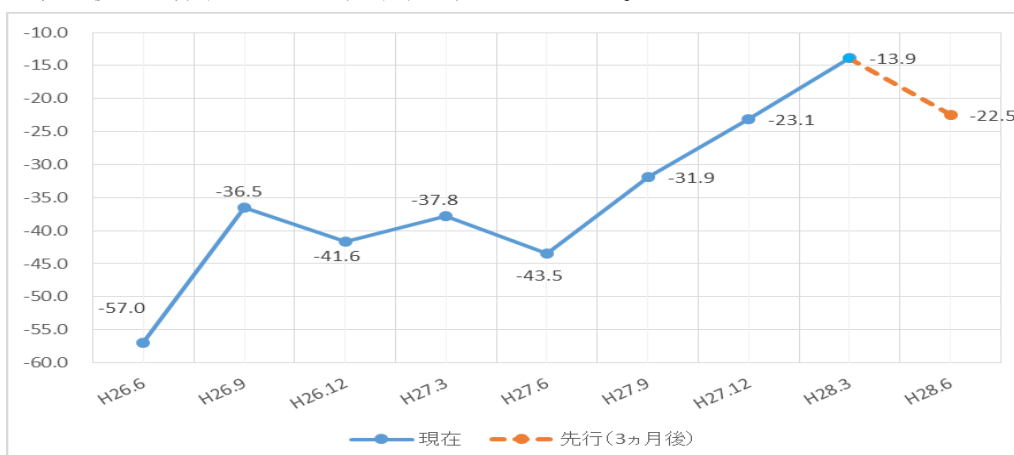
売上状況を表す現在 DI 値は▲15.4、前回調査から 5.4 ポイントの下落となった。3 ヶ月後の先行 DI 値は、▲31.8 と現在より 16.5 ポイントの大きな落ち込みを予測している。業界別には、製造業が▲14.0、建設業が▲4.4、卸・小売業が▲30.0、サービス業が▲10.8 となった。前回調査と比較して、製造業が 5.6 ポイント増、卸・小売業が 4.6 ポイント増であった。今後 3 ヶ月後の見通しは、卸売業を除く全ての業種で悪くなる模様。



売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値- 現在DI値)
全体	-15.4	-5.4	-31.8	-16.5
製造業	-14.0	5.6	-38.0	-24.0
建設業	-4.4	-13.3	-34.1	-29.6
卸・小売業	-30.0	4.6	-30.6	-0.6
サービス業	-10.8	-17.9	-22.2	-11.4

《仕入価格》

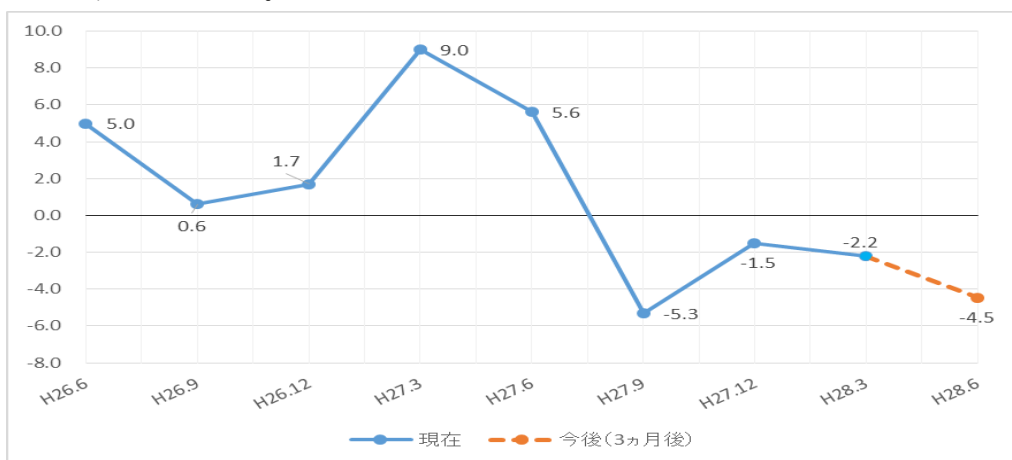
仕入価格の現在 DI 値は▲13.9 で、前回調査から 9.2 ポイント増となり、3 期連続の改善となった。3 ヶ月後を表す先行 DI 値は▲22.5 と、現在と比べ 8.6 ポイント減を予測している。業種別では、製造業が▲6.0、建設業が▲13.3、卸・小売業▲24.0、サービス業が▲11.4 となった。3 ヶ月後は全業種において低落する見通しである。



仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値- 現在DI値)
全体	-13.9	9.2	-22.5	-8.6
製造業	-6.0	1.8	-14.0	-8.0
建設業	-13.3	8.1	-18.2	-4.8
卸・小売業	-24.0	8.7	-36.7	-12.7
サービス業	-11.4	21.1	-20.0	-8.6

《販売価格》

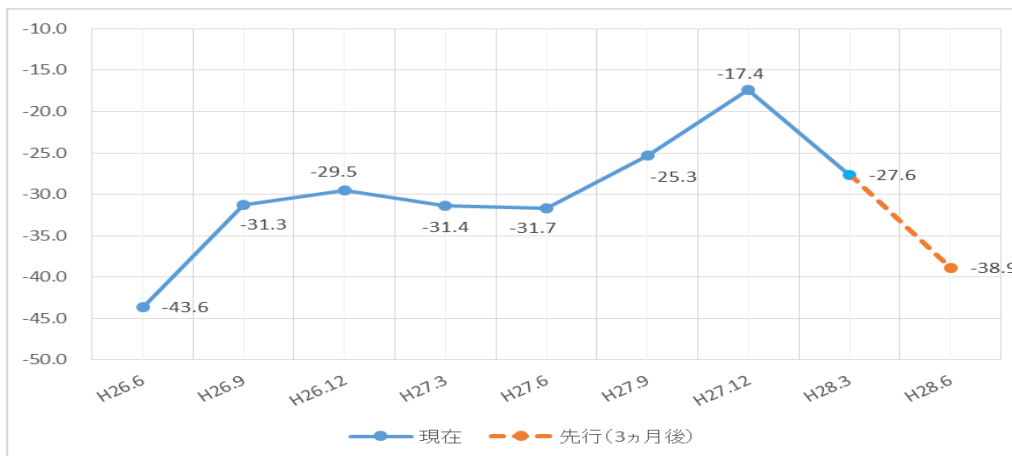
販売価格（受注単価）の現在 DI 値は▲2.2 となり、前回調査から小幅な下落であった。3ヶ月後の先行 DI 値は▲4.5 で現在と比べ 2.2 ポイント減。業種別では、製造業が▲10.0、建設業が▲2.2、卸・小売業が▲2.0、サービス業が 8.3 となった。業種別の先行については、卸・小売業でプラスを見込んでいる。



販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値- 現在DI値)
全体	-2.2	-0.7	-4.5	-2.2
製造業	-10.0	-10.0	-16.0	-6.0
建設業	-2.2	8.7	-6.7	-4.4
卸・小売業	-2.0	2.0	6.3	8.3
サービス業	8.3	-3.6	0.0	-8.3

《採算（収支）》

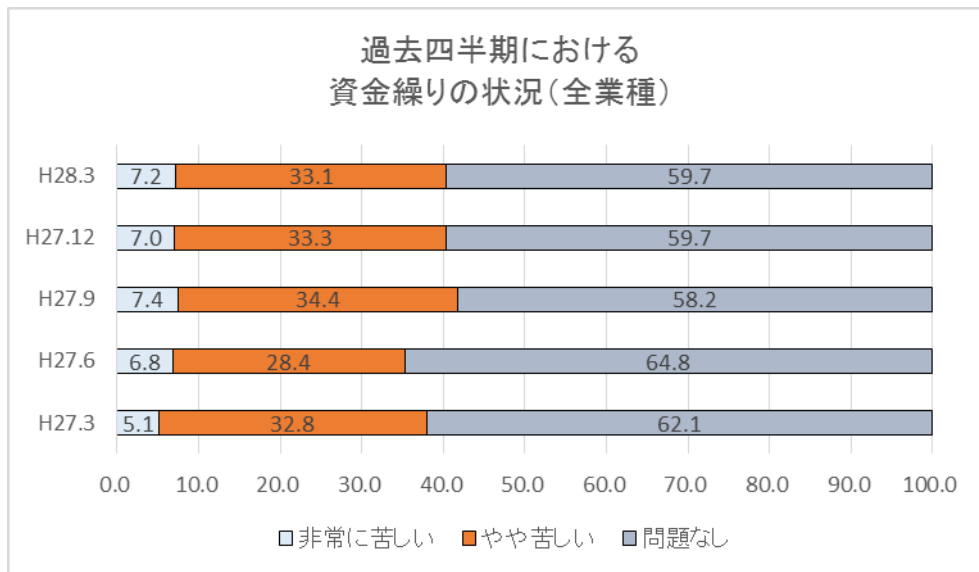
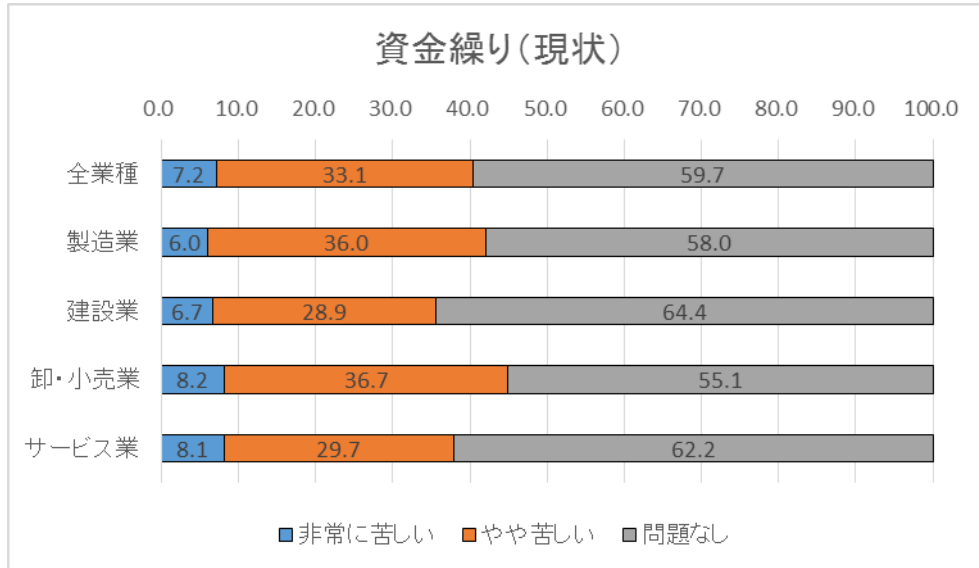
採算状況を表す現在 DI 値は▲27.6 と、前回調査から 10.2 ポイント減、改善傾向から悪化に転じた。3ヶ月後の先行 DI 値は▲38.9 で、現在と比べ 11.3 ポイントの大きな悪化を見込んでいる。業種別では、製造業が▲24.0、建設業が▲28.9、卸売業が▲46.9、サービス業が▲5.4 となった。3ヶ月後の見通しは、全ての業種で悪化する見込み。



採算（収支）	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値- 現在DI値)
全体	-27.6	-10.2	-38.9	-11.3
製造業	-24.0	-4.4	-40.0	-16.0
建設業	-28.9	-23.5	-46.7	-17.8
卸・小売業	-46.9	-8.4	-47.9	-1.0
サービス業	-5.4	-0.6	-16.2	-10.8

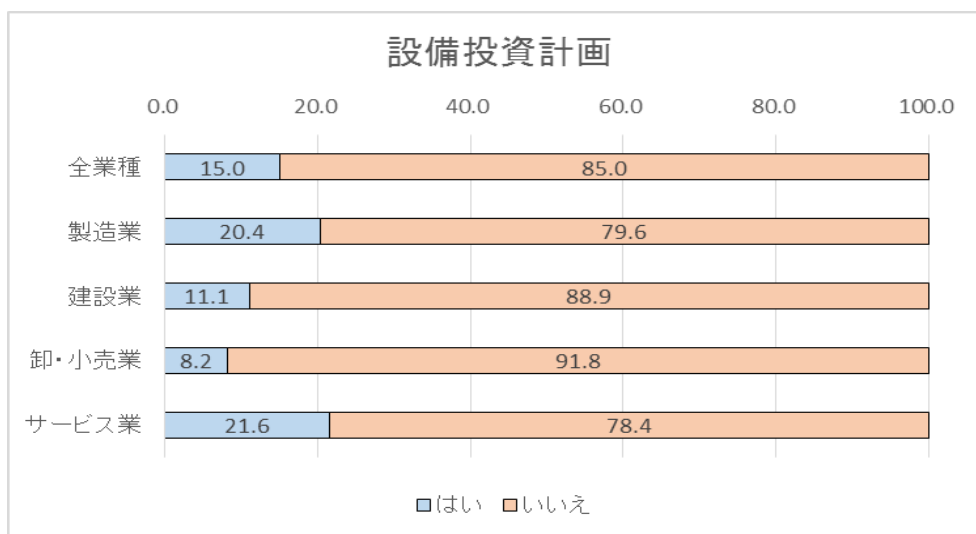
《資金繰りの状況》

資金繰りの状況は、業界全体の約6割が「問題なし」と回答し、過去四半期の状況と比較してもほぼ変化が無く推移している。業種別では、卸・小売業が全体より資金繰りが厳しいことが分かる。一方で、建設業・小売業・サービス業においては6割以上が「問題なし」と答えている。



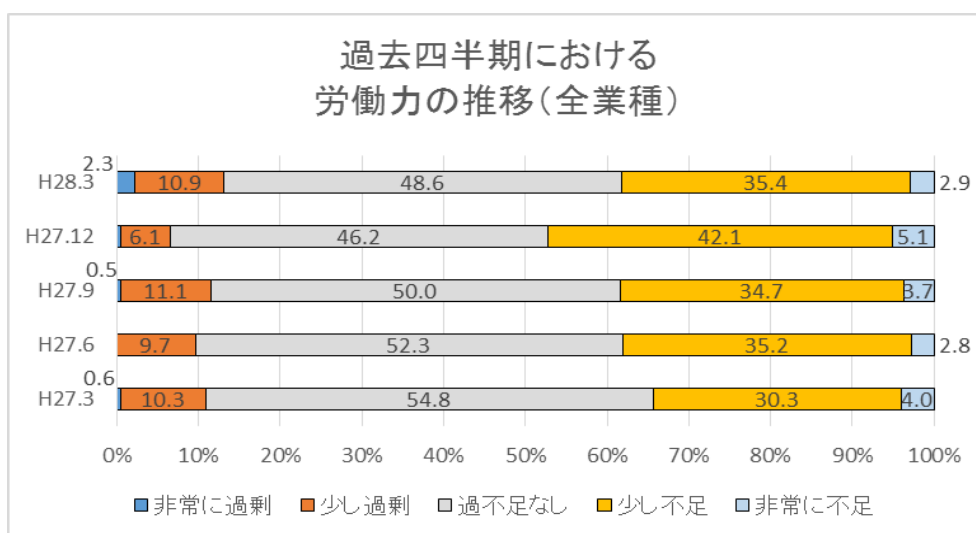
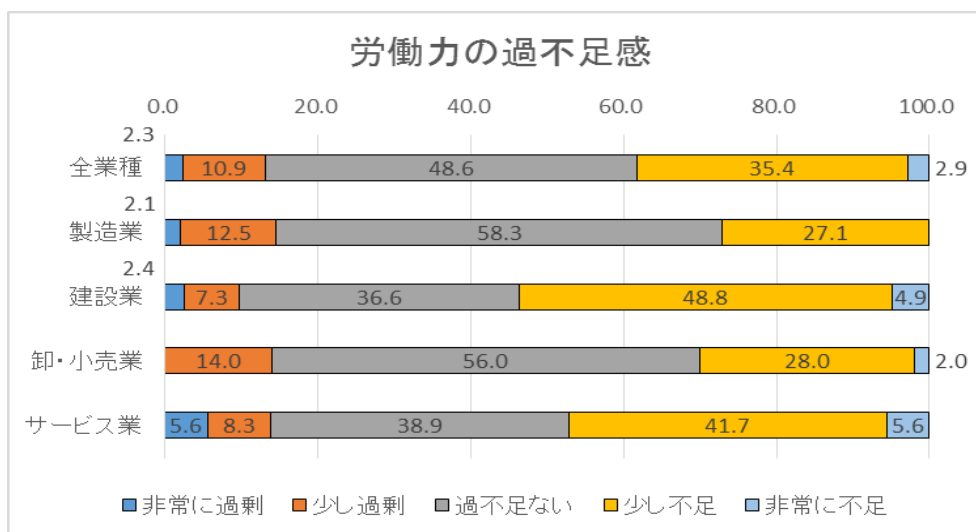
《設備投資計画》

今後3ヶ月以内の設備投資計画では15%が「ある」と回答している。業種別では製造業・サービス業が全体より高い。



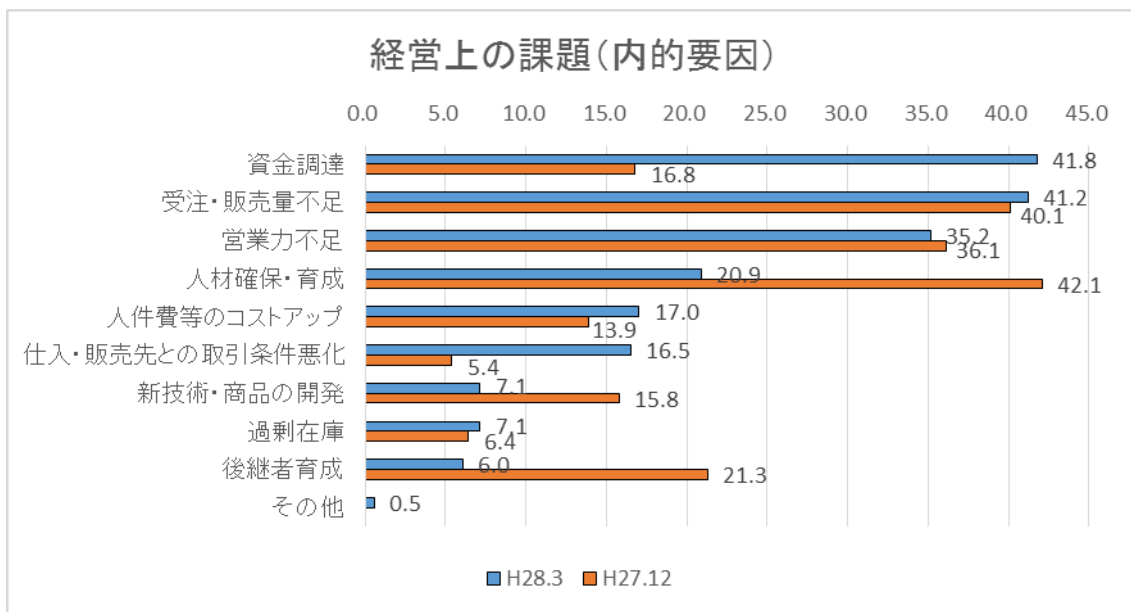
《労働力の過不足感》

労働力の過不足感については、半数近くの48.6%の事業所が「過不足ない」と答えた。業種別では、建設業・サービス業が、「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」と回答する割合が高く、業種によってばらつきが見られる。



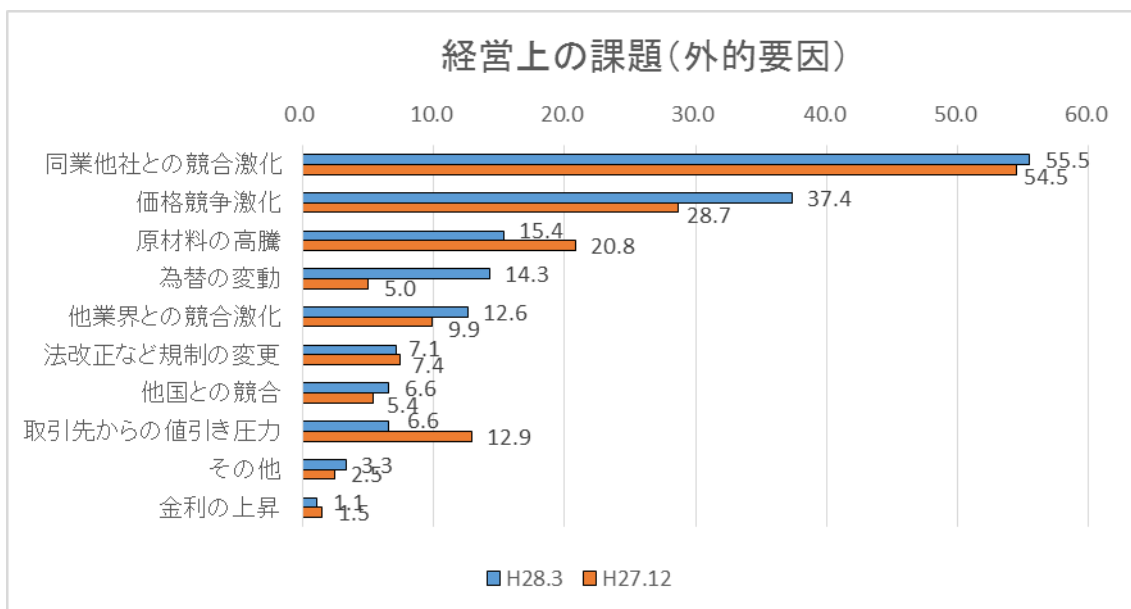
《経営上の課題（内的要因）》

経営上の課題（内的要因）については、「資金調達」を課題にしている事業所が前回調査から大きく伸びて 41.8%となった。一方で前回調査時に最も課題にされていた「人材確保・育成」は、半減して 20.9%となった。また、「新技術・商品の開発」・「後継者育成」を、経営上の課題としていた事業所も大きく減った。



《経営上の課題（外的要因）》

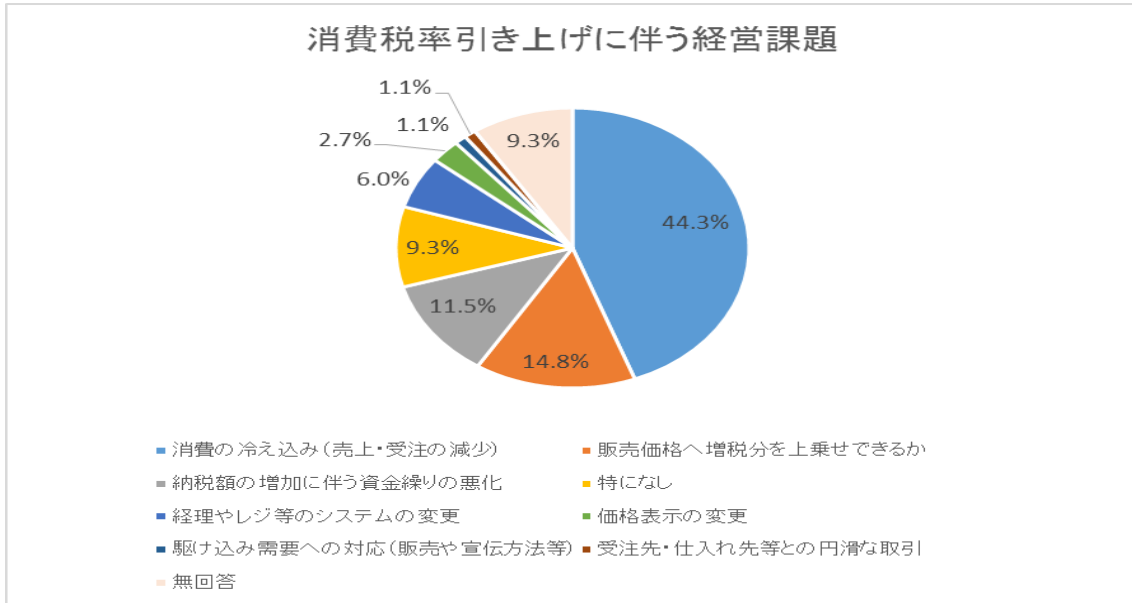
経営上の課題（外的要因）として、最も挙げられたのが「同業他社との競争激化」であった。前回調査から比べれば、「価格競争激化」が 8.7 ポイント増、「為替の変動」 9.3 ポイント増が目立つ。一方で、「原材料の高騰」が 5.4 ポイント、「取引先からの値引き圧力」 6.3 ポイント減少している。



【消費税引上げについて】

《消費税引上げに伴う経営課題》

消費税引上げ時に予想される経営課題について、「消費の冷え込み（売上・受注の減少）」が44.3%と最も多く、次に「販売価格へ増税分を上乗せできるか」が14.8%であった。



《消費税引上げの際に必要な支援策》

消費税引上げの際に必要な支援策については、「特になし」が31.7%で最も多かった。次に、「経営改善に向けた融資制度（低利融資等）」が21.9%、「分割納付など納付方法の変更」が12.6%を占めた。

